

第二十五回記念公演

蟹江尾

八会



祝

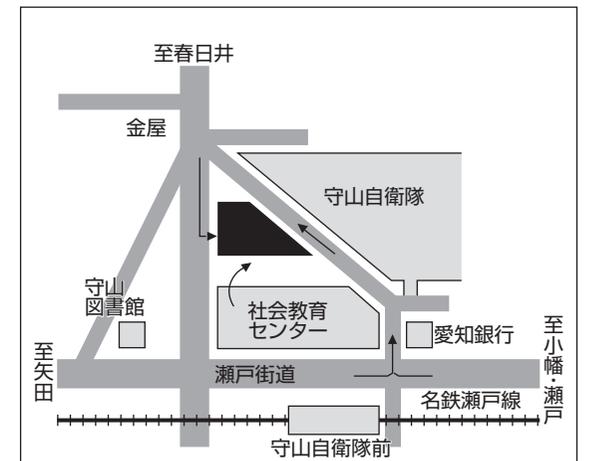
第25回 民謡と端唄 蟹江尾八会

竹田耳鼻咽喉科

守山区

守山社会教育センター北となり
自衛隊西となり（駐車場あり）

- 診療時間
月・火・水・金 AM9:00～12:00
PM5:00～ 7:30
木・土 AM9:00～12:00
- 休診日
日・祝
木・土（午後休診）



院長 竹田光彦

〒463-0067 名古屋市守山区守山3丁目2-13

ナクヨ ハナミミ
☎(052)794-8733(代)

第二十五回記念公演

民謡と端唄

蟹江尾八会

民謡は旅人

会場／日本特殊陶業市民会館ビレッジホール

日時／平成28年5月1日(日)

開場／12:00 開演／12:30 終演／17:30(予定)

主催／蟹江尾八会

後援／愛知県・名古屋市・中日新聞社・日本郷土民謡協会東海地区連合会
愛知芸術文化協会(ANET)・ナゴヤ劇場ジャーナル

祝

第25回 民謡と端唄 蟹江尾八会

和楽器専門店

山とや

豊橋市上伝馬町64

TEL (0532) 52-5286

<http://www.wagakki.co.jp/yamatoya/>

番組

オープニング三味線大合奏「稗搦節三題」

第一幕 民謡は旅人

一場 旅立ち

二場 合唱 名古屋の盆踊り「守山おどり」

三場 うたで綴る故郷の旅

四場 特別出演 思い出の旅

五場 座敷唄の魅力

六場 あゆちの民謡をたずねて

七場 よみがえる故郷の唄

第二幕 絃の奏で合い「名取三味線合奏 箏と共演」

第三幕 端唄で綴る「大川端の四季」

第四幕 特別出演 語り継ぐうたの心

一場 うた絵巻つれづれ

二場 二十五周年記念曲

三場 「蟹江尾八の弾語り」

いあいさつ

民謡と端唄 蟹江流家元 蟹江尾八

木々の芽吹きに、心漲る季節を迎え、皆様には御清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、第二十五回記念蟹江尾八会「民謡は旅人」の開催に際しましては、日頃より格別なるご支援ご協力を賜り心より御礼申し上げます。

戦後、人々は仕事を求め地方から都心に集い、遠い故郷を偲ぶ民謡に心の潤いを感じ、民謡のブームの時代を作っていました。現在では、遠い故郷も身近になり、民謡も一つの音楽として感じるようになり、次の時代を迎えております。

しかし私には遠い故郷はありませんが、生まれ育ったこの名古屋にこだわりを持ち、こよなく愛し、民謡の少ないこの地に、蘇える故郷の唄と題し、民謡の発掘研究を続けてきました。

名古屋には盆踊り唄が希少といわれていましたが、名古屋東部に貴重な盆踊り唄が残っており、本公演で守山おどりとして「手拭い踊り」「扇子踊り」を披露いたします。

また現在では、あまり聴かれなくなりました「平針木遣りの中の桑名節」も、三味線伴奏を付け歌いやすく整え、多くの方に歌ってほしいと思ひ採譜し、発表いたします。

節目となる二十五周年を機に、これまで纏め上げた愛知県民謡集を出版する運びとなり、この度、三味線譜と曲の解説付きで、愛知県の民謡に興味を持っていただきたく、先ずは五十曲余り整理いたしました。

公演に於きましては、出演者一同心合わせ、精一杯舞台を努めさせて頂きまので、終演まで温かいご声援頂きたくご高覧賜りますようお願い申し上げます。



祝辞

愛知県知事 大村秀章



第二十五回記念 民謡と端唄 蟹江尾八会「民謡は旅人」が、盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

日本人の生活の中から生まれた民謡、端唄は、時代を超えて多くの人手、三味線奏者として精力的に御活動されているほか、愛知県の埋もれた民謡の発掘・研究にも力を尽くされております。また、蟹江尾八会の皆様方におかれましても、御家元の御指導のもと、民謡に深く親しまれ、日々御研鑽を積まれています。こうしたことは、本県の文化振興にとりましても誠に意義深く、皆様の御努力に心より敬意を表する次第であります。

さて、愛知県では、今年の夏から冬にかけて現代アートの国際芸術祭「あいちトリエンナーレ」を皮切りに、「国民文化祭」、「全国障害者芸術文化祭」を開催し、愛知の豊かな文化芸術活動・取組を大いに発信してまいりたいと考えております。皆様方におかれましては、本県の文化芸術の振興に二層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、蟹江尾八会のみならずの御発展と、御参会の皆様のご活躍をお祈り申し上げます、お祝いの言葉といたします。

お祝いのことば

名古屋市長 河村たかし



第二十五回記念 民謡と端唄 蟹江尾八会「民謡は旅人」が今年も盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

人々の喜びと悲しみの心情が込められ、喜怒哀楽を見事に表現した民謡と、日本音楽の魅力とともに遊び心を凝縮した端唄は、長い歴史の中で大切に謡い継がれ、今もなお私たちの心を惹きつけてやまない伝統文化であります。

蟹江尾八会の皆様におかれましては、定期的な演奏会活動だけではなく、後進の育成に尽力され、民謡や端唄の普及と継承に大いに貢献してこられました。また、蟹江尾八会御家元は、埋もれた民謡の発掘、採譜に努めておられ、本公演でもその研究の中で発掘された、愛知県の民謡をご披露いただけると伺っております。皆様のその積極的な御活動は、名古屋市の文化振興に大きく寄与するものであり、深く敬意を表します。

本日は、当地域で活躍する方々が華を添えられ、全国各地の民謡をご披露いただけることとございます。ご出演の皆様が日頃の鍛錬の成果を存分に発揮され、素晴らしい公演となりますことを大いに期待しております。

名古屋市としても、市民が質の高い文化に触れることのできる機会を充実させ、文化の薫り高いまちづくりを進めてまいりますので、今後とも皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本公演のご盛會と、蟹江尾八会のみならずのご発展、ご来場の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。

お祝いのごとば

名古屋医師会監事 医学博士
蟹江尾八会顧問

竹田光彦



民謡・端唄 蟹江尾八会は平成三年四月に発足し、翌年四月五日に名古屋市芸術創造センターにて第一回の発表会を開催致しました。第七回の発表会より会場を名古屋市民会館に移し、以来今回で二十五回の発表会を開催することになりました。

民謡・端唄は日本各地の庶民の生活・風土の中から生まれ、親から子へ、子から孫へと唄い継がれてきた我が国の伝統芸能のひとつであり、私たちの心に、ひとときの潤いと安らぎを与えてくれるものであります。

尾八先生は、ただ民謡・端唄を教えるのみではなく、それがいつどこで生まれ、どのようにして日本各地に伝播していったかということや、昔、各地で唄われていながら、現在忘れ去られてしまっている民謡の発掘・調査・採譜という極めて困難な仕事に取り組んでおられ、このことが新聞・テレビなどに取り上げられており、近々、愛知県民謡集として発刊される予定になっており、その成果が待たれるところであります。

尾八会の皆様におかれましては、日頃の稽古により培われました修練の成果を、本日この舞台で遺憾なく発揮されますと共に、民謡・端唄を通じて、豊かで潤いのある人生を送っていただくことを願ってやみません。

最後に尾八会の益々の発展と会員の皆様、ゲストの先生、そしてご来席の皆さまの御健勝と御多幸を心より祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

ごあいさつ

蟹江尾八会会長

蟹江尾乃端



本日は皆様ご多忙の中お越しいただき、誠にありがとうございます。お陰様で蟹江尾八会も二十五回目の発表会を迎えることができました。

これもひとえに皆様の格別なるご支援と、ゲストの諸先生方を初め、関係各位様のご協力の賜と、心より感謝いたしますと共に、厚く御礼申し上げます。

今年には郷土民謡東海大会において三味線合奏で二位となり、十月に東京武道館で行われる郷土民謡大会の出場に向けてがんばっています。

大勢のお客様の前で唄う緊張感と、賞をいただくうれしさは、会員の皆様のお稽古の励みになります。

第二十五回の本日の公演、日頃の成果を発揮できますよう、会員一同がんばりますので、最後までごゆっくり観覧いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

祝 第25回 民謡と端唄 蟹江尾八会



有限会社 ザ・イアーズ

〒454-0861 名古屋市中川区荒子町念仏池12-5
TEL: 052-355-6233 FAX: 052-355-8641

la CASA 春日井店

愛知県春日井市六軒屋町3-187
☎ 0568-48-1181
☎ 0120-92-8981
営業時間 10:00 ~ 18:00

la CASA 江南店

愛知県江南市江森町南76
☎ 0587-51-0080
☎ 0120-30-8228
営業時間 10:00 ~ 18:00



LIVING STUDIO

la CASA
www.lacasa.co.jp

Cafe de lacasa 栄店

名古屋市中区栄3-18-1 ナディアパーク3F
☎ 052-238-1275
営業時間 11:00 ~ 20:00 (ラストオーダー 19:30)



村井 哲鷲



剣持 雄介



森 信佐句



樺沢 壹良鵠



斎 千龍

唄



特別出演



家元 蟹江 尾八



出演者

祝 第25回 蟹江尾八会発表会 森 民謡会

会主 森 信佐句

〒485-0075 小牧市三ッ淵1911-3 TEL <0568>72-7328

祝 第25回 蟹江尾八会

日本のうた 斎千龍の会

会主 斎 千龍

本部 〒481-0044 北名古屋市加島新田加島西53
TEL/FAX : 0568-22-4701



蟹江 礼子



蟹江 しほ



(尺八・笛)

米谷 大輔



(箏)

野村 祐子
正絃社会奏団



旅人(司会)

小島 範子



(鳴物)

望月 左登貴美

音楽



特別出演



内田 るり千鶴



牧野 法子
東遊会社中



内田 寿千鶴

舞踊



特別出演

祝 第25回 蟹江尾八会発表会

名古屋 藝文会

会主 榊沢 壹良鵲

〒457-0835 名古屋市南区西又兵衛町2-32 TEL:090-1569-5710

祝 第25回 民謡と端唄 蟹江尾八会

民謡 歌謡 舞踊

東 遊 会

会主 牧野 法子

名古屋市瑞穂区白羽根町 2-50-2 (052) 841-8778



宮川生花店

尾八会御用達

〒466-0064
名古屋市昭和区鶴舞2丁目21-7 グランマルシェ、コバリ内
TEL&FAX (052) 882-5017

〒460-0011
名古屋市中区大須3丁目10-26
TEL&FAX (052) 242-8007

祝 民謡 剣持会

会主 剣持 雄介

〒454-0034
名古屋市中川区五女子町5丁目56番地
TEL/FAX (052) 353-7594

大師範



蟹江 尾馨
(梶田 千鶴子)
第30回全国尾鷲節コンクール
尾鷲観光物産協会理事長賞

総師範



蟹江 尾風
(竹田 育代)

総師範



蟹江 尾乃玉
(奥村 牧子)
平成27年福光めでたコンクール
奨励賞

総師範



蟹江 尾乃端
(山守 永江子)

師範



蟹江 尾泉
(古茂田 滋)

師範



蟹江 尾保
(柴田 五保子)

師範



蟹江 尾乃和
(小塚 富子)
第40回郷土民謡東海大会入賞

師範



蟹江 尾紅
(小木曾 充子)

師範



蟹江 尾花
(後藤 町美)
第40回郷土民謡東海大会入賞

師範



蟹江 尾奈緒
(亀井 弘子)
第40回郷土民謡東海大会入賞

祝 第25回 蟹江尾八会
蟹江尾馨会
会主 蟹江尾馨
小牧市大字大草4425
TEL : 0568-79-2462 (梶田 千鶴子)

祝 第25回 蟹江尾八会
蟹江尾乃玉会
会主 蟹江尾乃玉
岐阜県可児市二野1553-3
TEL : 0574-63-6697 (奥村 牧子)

祝 第25回 蟹江尾八会
蟹江尾風会
会主 蟹江尾風
あま市木田五反田5-43
TEL : 0561-55-3387 (竹田 育代)

祝 第25回 蟹江尾八会
蟹江尾泉会
会主 蟹江尾泉
名古屋市千種区春岡2-19-11
TEL : 052-752-7030 (古茂田 滋)

大河内 順子
 安本 絹子
 夏目 果代子
 森 志保
 牧野 志保
 池本 ひな
第30回全国尾鷲節コンクール
 ジュニア優勝
 池本 ゆい
第40回郷土民謡東海大会
 小学生低学年の部 優勝
 鬼頭 千代子
 徳竹 妙子
 山川 恵子
 今村 菖愛
 小島 莉子
 谷口 琳軌
 中野 美代子
 近藤 美代子
 小木曾 延子
 星野 幸江
 松澤 里恵
 西川 喜久江
 谷口 人軌

出演者



蟹江 尾杏
(夏目 楓子)



蟹江 尾久
(伊藤 洋子)



蟹江 尾采
(栗原 采子)

新名取

新名取

新名取



蟹江 尾蜻
(柴田 梓)



蟹江 尾乃八重
(森川 熱子)
 第40回郷土民謡東海大会
 優勝 テレビ愛知賞

名取

名取



蟹江 尾恵
(請井 恵理子)

準師範



蟹江 尾栄
(渡辺 加代子)



蟹江 風賀
(大野 啓子)

準師範

準師範
(尾風門下)



蟹江 尾桃
(伊藤 桃子)



蟹江 尾登弥
(西田 京子)

準師範

準師範

呉服 明日のキモノ
 多 け や
 石川橋店
 〒466-0843 名古屋市昭和区菊園町4-22
 (菊園町4丁目バス停前)
 電話(052)851-1036

プログラム

オープニング三味線大合奏「稗搦節三題」

1 稗搦節 正調稗搦節 早調稗搦節(替手入り)

西川喜久江	森佐利志	蟹江尾花
星野幸江	蟹江尾恵	蟹江尾泉
中野美代子	蟹江風賀	蟹江尾乃玉
鬼頭千代子	蟹江尾登弥	蟹江尾風
徳竹妙子	蟹江尾栄	蟹江尾馨
大河内順子	蟹江尾蜻	蟹江尾八
安本絹子	蟹江尾乃八重	蟹江しほ(替手)
今村菖愛	蟹江尾杏	蟹江礼子(替手)
夏目果代子	蟹江尾久	蟹江尾保
松澤里恵	蟹江尾采	蟹江尾乃和
	牧野志保	蟹江尾紅

(舞台前列よりの並び順)

開会の挨拶

大会委員長

蟹江

尾乃端

第一幕 民謡は旅人

一場 旅立ち

2 合唱

あゆちの唄 高針炭鉦節

【愛知県】明治三十(一八九七)年ころ、名古屋市名東区高針から日進市にかけては、岩木と呼ばれた石炭に比べて粗悪な亜炭が採掘され、この地の重要な生業のひとつであった。この唄は常磐炭坑節と似た旋律で、他にポンプ押し唄も残されていた。

牧野志保
池本ひな
谷口人軌
谷口琳軌
小島莉子
池本ゆい
今村菖愛
夏目果代子
三味線…しほ 礼子 尾杏 尾采

(並び順)

3 斎太郎節

谷口琳軌(6歳)
三味線…しほ 礼子

【宮城県】勇壮な掛声と共に歌われる、海唄独特な哀歓を持つこの唄は、たたら職人の間で歌われた「銭吹唄」が元となっており、後に漁師により「艚漕唄」となった。

4 尾鷲節

小島莉子(8歳)
三味線…しほ 礼子 尾蜻

【三重県】江戸時代末期、尾鷲の漁師達は「なしよまま」を愛唱していた。その後尾鷲神社の祭礼の「道中唄」として歌われ、花街でも三味線を付けて歌われるようになり、大正六(一九一七)年に現在の形に整理された。

5 会津磐梯山

池本ゆい(8歳)
三味線…しほ 礼子

【福島県】会津地方の東山温泉一帯の「盆踊り唄」で、明治の始め、新潟から来た油絞り職人が、仕事の慰労に酒を飲みながら歌い囃したのが始まりといわれている。



コンドウ歯科

院長 近藤 昌嗣

〒467-0005 名古屋市瑞穂区石川町2-4
TEL.052-853-1211 FAX.052-853-2266
<http://www.j-dol.com/dr/kondou/>

伝統美術陶芸

手しごとの館 やかた 陶芸ギャラリー山文

山文陶苑

〒507-0814 岐阜県多治見市市之倉町8丁目
電話 <0572> 22-3774
FAX <0572> 22-8805

6 桑名名物

池本ひな(11歳)
三味線・しほ 礼子

【三重県】桑名はかつて松平十二万石の城下町で、伊勢参拝の表口という地に恵まれ、遊里や旅籠屋が栄えた。その宴席で歌われた「石取ばやし」をもじって生まれた座敷唄である。

7 鹿児島小原節

今村 菖愛(13歳)
三味線・しほ 礼子

【鹿児島県】大正頃までは、草牟田川上流の伊敷原良で歌われていた「原良節」がルーツという説があり、宮崎県の「安久節」の歌い替えて、野趣に富んだ情熱的な味わいのある唄である。

◆◆◆ 二場 合唱 名古屋の盆踊り ◆◆◆

8 守山扇子踊り

踊り・東遊会社中

【愛知県】名古屋では、ほとんど伝承されていらない「盆踊り唄」が、守山区の川村地区に残されており、昭和五十四年に「しよんがい踊り」「チョイトセ踊り」「かぶり笠踊り」「さい踊り」「扇子踊り」「手拭踊り」が、この地の盆踊りで披露された。曲調としては「旧伊勢音頭」と関わりがあると思われ、伊勢参りの土産に持ち帰られ、この地の唄となったようである。

松澤 里恵
蟹江 風賀
蟹江 尾花
蟹江 尾風
蟹江 尾馨
徳竹 妙子
山川 恵子
鬼頭 千代子
小木 曾延子
近藤 美代子
星野 幸江
三味線・尾八 尾泉 尾恵
(並び順 11名)

9 守山手拭い踊り

合唱

蟹江 尾久
蟹江 尾栄
蟹江 尾登弥
蟹江 尾乃端
蟹江 尾乃玉
蟹江 尾保
蟹江 尾乃和
蟹江 尾紅
蟹江 尾奈緒
安本 絹子
大河内 順子
三味線・尾八 尾泉 尾恵
(並び順 11名)

◆◆◆ 三場 うたで綴る故郷の旅 ◆◆◆

10 十日町小唄

星野 幸江
三味線・尾馨 大河内順子 鬼頭千代子
(替手)尾花

【新潟県】昭和四(一九二九)年に、藤本三吉と十日町芸妓連により発表された、旋律の美しい曲である。作者の中山晋平は、弾まない形が正統と語っている。

11 牛深ハイヤ節

夏目 果代子
三味線・しほ 尾乃八重

【熊本県】発祥は多説あるが、近年牛深説が有力となった。「板子一枚下は地獄」の船乗りたちの酒宴の唄として生まれ、全国の千石船の船乗りたちによって、全国津々浦々に伝承された。

不動産を購入・売却する場合、相続、贈与などで適正な価格が必要な場合の、土地(宅地、農地、山林、借地権、低地)、建物(住宅、マンション等)の価格の評価業務。賃貸借に伴う適正賃料の評価業務。

不動産の鑑定評価
コンサルティング業務

白羽根不動産鑑定所

不動産鑑定士 牧野 敦 愛知県知事登録(1)第304号

〒467-0014 名古屋市瑞穂白羽根町2-50-1
TEL(052)858-6366 FAX(052)858-6367

県知事許可(般-4)第50241号

有限会社 渡邊建設

事務所 / 〒490-1224 あま市丹波字南屋敷74番地
TEL: (代) 052-444-5388 TEL&FAX:052-444-2267
工場 / 〒492-8325 稲沢市西島東町22番地
TEL:0587-36-6007

12 ヨイシヨコシヨ節

近藤 美代子
三味線・尾馨 尾花 中野美代子

【山口県】高杉晋作が宴席の戯れで歌ったものといわれているが、萩市に残る祝い唄らしく、明治維新の香りが強く残されている。元唄は明治初期から流行った「角力甚句」を本調子で歌ったものの亜流である。

13 桑名の殿様

山川 恵子
三味線・尾馨 尾花 徳竹妙子

【三重県】桑名は宮の熱田から海上七理の渡しで、伊勢参りの人々の往来や、港としての商業の繁栄があり、町は船宿や妓楼などで繁盛していた。この唄は伊勢神宮の御用財を曳く時に歌う「御木曳唄」を取り入れて派生した曲である。

14 祖谷の粉碾唄

松澤 里恵
三味線・尾乃玉 尾栄 尾久

【徳島県】現在、観光で有名になった祖谷地方は、傾斜の急な山ばかりで米がとれず、粟、稗、とうもろこし、蕎麦などの雑穀を栽培し、常食として自給自足で生活していた。これらの雑穀を粉にする臼碾きに歌われた唄である。

15 長崎浜節

鬼頭 千代子
三味線・尾馨 尾花

【長崎県】「住吉踊り」が原形で、昭和初期に丸山の芸妓「愛八」と郷土史家の「古賀十二郎」で作られたもの。愛八は長崎郊外の獺師町網場の生まれで、十七歳で芸者になり、美貌と美声で鳴らした。近年、映画で吉永小百合が演じた。

16 本荘追分

安本 絹子
三味線・尾泉 森佐利志

【秋田県】信濃追分の流れをくむ曲で、北前船の船頭衆によって遊廓などで歌われ、現在のように洗練された。多様な振り落としの技巧を持ち、節尻に独特な柔らかい振りが特徴である。

17 信濃追分

徳竹 妙子
三味線・尾馨 尾花

【長野県】原曲は馬子唄で、追分宿で座敷騒ぎ唄として育ち、後に「越後追分」を生んだ。出稼ぎ人夫や座頭たちによって伝えられ、「江差追分」の源流となり、座敷唄らしい情緒の深い曲である。

18 木更津甚句

大河内 順子
三味線・尾風 風賀

【千葉県】江戸末期の流行った「二上り甚句」が変化し、落語家の「柳勢」が江戸の高座で歌い出し大流行をした曲で、東京湾唯一の舟唄であった。

19 吾野機織唄

踊り・東遊会社中
三味線・尾馨 尾花 西川喜久江
（替手）尾蜻
小木曾 延子

【埼玉県】秩父の養蚕と織物は二四〇〇年もの歴史を持つ古い伝統がある。この唄は機織りに生まれたもので、民謡家の小沢千月氏によって蘇った曲である。

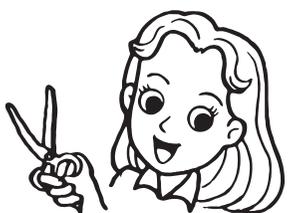
ビューティック北山

「低料金のお店」
着付けも致します。

〒466-0022 名古屋市昭和区塩付通1-40-1
(ショッピ・エコー横)

TEL(052)731-8883

■定休日/水曜日 ■営業時間/AM.9:00~PM.7:00



季節の和菓子 手造りういろ 羊羹 洋菓子

雀をどりお店

若 雀

〒467-0806 名古屋市瑞穂区瑞穂通1-28
名古屋博物館北隣 **TEL (052) 841-7014**



◆◆◆ 四場 特別出演 思い出の旅 ◆◆◆

20 伊勢音頭 蟹江礼子
三味線・剣持雄介

【三重県】伊勢神宮の二千年ごとに行われる年式遷宮の御神木の御木曳作業に歌われ始め、後に古市や川崎の遊里に入り、名古屋で変遷を遂げ土地の唄となり、尚洗練され現在の唄となった。

21 正調伊勢音頭 蟹江しほ
三味線・剣持雄介

【三重県】伊勢音頭は現在「木遣り節」と「道中唄」「さわぎ唄」に分類され、文政年間（一八〇四～一八三〇）のお伊勢参りの全盛期には、参拜者が年間三百五十万人押し寄せた記録があり、地元古市、川崎の繁栄振りは想像できる。古市では備前屋、油屋、杉本屋、扇屋など有名な妓楼があり、その芸者により「さわぎ唄」として生まれた唄であると思われる。

22 宮城野盆唄 米谷大輔
三味線・しほ 礼子

【宮城県】東北地方では宮城県だけは盆踊り唄がなく、作曲・渡辺波光、作曲・佐藤長助、編曲・武田忠二郎らが、いくつかの盆踊唄の旋律を考慮し作った馴染みやすい曲。昭和三十三年（一九五八）年に米谷威和男、斎藤京子の歌唱でレコード化された。

23 かんちよろりん節 剣持雄介
三味線・しほ 礼子

【福島県】この唄は、古い童唄や子守唄であったといわれ、曲名の当て字から神唄などとも思われている。また、江戸時代の流行唄が相馬地方に定着したなど、はつきりとした出所はわからない曲で、カンチヨロリンという囃し言葉から「神長老林節」と名づけられた。

◆◆◆ 五場 座敷唄の魅力 ◆◆◆

24 外山節 蟹江尾采
三味線・しほ 尾杏 牧野志保 夏目果代子

【岩手県】素朴で郷土色に包まれた親しみのある名曲。明治中期に牧場が開設された時、その開拓に従事した人達によって歌い出された作業唄で、近年お座敷唄として人気のある唄である。

25 高知町づくし 蟹江尾久
三味線・尾乃玉 尾栄 尾恵

【高知県】遊行芸能者が農家の庭先でむしろに坐って、三味線の弾語り聞かせたもので、土佐では「さえもんもん」といわれ、後に宴席の余興として歌われた。江戸中期に流行した「づくしもの」で、旋律や曲想は「大津絵節」がもとである。

26 福光めでた 蟹江尾奈緒
三味線・尾馨 尾泉

【富山県】玄界灘にある馬渡島に発生した漁師唄「まだら」が、日本海沿岸を北上し、能登の輪島、七尾から伝わって、内陸に入りこの唄となった。時とともに優雅な旋律で長閑で穏やかな曲調になった。

27 高山音頭 蟹江尾杏
三味線・しほ 尾乃八重

【岐阜県】明治以前から踊られていた「吉左右踊り」という盆踊り唄で、音頭と名が付いているが音頭形式ではなく、曲は単調のようだが実は複雑なニュアンスを持つ曲である。

有限会社 フ ジ ヨ ウ 陶 藝 社

〒507-0027 岐阜県多治見市上野町 1丁目66番地
TEL : 0572-23-0778

世界に伸び行くイザワカラー



陶磁器用 } 耐酸 } 絵具
硝子用 } 含金絵具・各種無鉛 }
磁 瑯 用 } 一般 }

株式会社 井澤絵具製造所
取締役社長 井澤洋二
本社 〒507-0047 多治見市富士見町2-34
TEL (0572) 22-5008 (代表)
FAX (0572) 24-2323

株式会社 イザワピグメンツ
取締役社長 井澤洋二
池田工場 〒507-0048 多治見市池田町9-170
TEL (0572) 24-1668

28 祖谷甚句

蟹江 尾登弥
三味線・尾乃玉 尾保 尾紅

【徳島県】印象的な囃し言葉がいかにも深山の人たちの開放的な一面をのぞかせる宴席の騒ぎ唄。祖谷ではたつたひとつの甚句形式の唄だが、この甚句が祖谷の山奥にあるのかという謎は解明されていない。

29 伊那節

蟹江 尾乃八重
三味線・しほ 尾蜻

【長野県】もともとは、伊那市を中心に街道往来の人々の心を慰め歌われた盆踊り唄。「木曾節」と同じく「御岳山節」が原調で、明治四十一（一九〇八）年に「伊那節」と命名された。

30 淡海節

蟹江 尾乃和
三味線・尾乃玉

【滋賀県】喜劇役者の「志賀廻家淡海」が大正五（一九一六）年に作り、舞台上で歌い広めた俗曲調座敷唄。曲調は「名古屋甚句」の手と「ヨイシヨコシヨ節」を加え見事に仕上げられている。

31 長崎ぶらぶら節

蟹江 尾蜻
三味線・しほ 礼子（替手）尾乃八重

【長崎県】元唄は上方の「豊年踊り」や、江戸の俗曲「いたこ」といわれている。定説はないが、幕末前後の長崎の様子を詠い、珍しい詩形を持つ曲で、丸山の名妓「愛八」によつて全国に広まった。

32 深川節

蟹江 尾栄
三味線・尾八 尾風

【東京都】江戸末期に大道芸の願人坊主が、白の行衣に墨染めの衣を着け、大坂の「住吉踊り」を模倣して、万燈傘を担ぎ集団で歌い踊つたもの。起源は文政年間（一八一八～一八三〇）深川遊里が全盛であったところである。

33 鹿児島三下り

蟹江 尾乃玉
三味線・尾八 しほ

【鹿児島県】およそ二〇〇年前、薩摩気風を和らげるため、盛んに上方から取り入れられたが、その折り京都から伝えられたものといわれている。この曲は派手で独特のバチさばきで難曲といわれ、この地の代表的な騒ぎ唄である。

34 伊予節

蟹江 尾風
三味線・尾八（替手）礼子

【愛媛県】この唄の起源には諸説あるが、上方や江戸で古くから歌われていたもので、民謡といふよりむしろ端唄と思われ、各地で替え唄を生んだ後、伊予に定着したものである。

◆◆◆ 六場 あゆちの民謡をたずねて ◆◆◆

35 十四山音頭

牧野 志保
三味線・しほ 尾采

【愛知県】この唄は盆踊り唄で、昭和三十年ころ、名古屋の中村遊廓の女将であった「佐藤志か」が聞き覚えたものを、初代川崎滝雄氏が整理した曲である。

新車・中古車販売

株式会社 **ハルキン**

〒486-0803 春日井市西山町1丁目4番地の1
TEL (0568) 56-2121(代)
FAX (0568) 56-2100

大小ご宴会に・ご商談・ご会合に

広い庭園のある味処

料亭 **質城園**

名古屋市熱田区夜寒町16-22

☎(052) 682-3747(代)

36 加家の粉碾唄

蟹江風賀
三味線・尾風 尾泉 尾久

【愛知県】加家は、明治十二（一八七八）年に五村が合併し荒尾村となり、現在の東海市荒尾町にある。この唄は石臼で米、麦、大豆などの粉を碾く時に歌われた作業唄で、「名古屋を中心とした俚謡集」、加藤政次著を基に、蟹江尾八が採譜・編曲したものである。

37 名古屋甚句名物

蟹江尾花
三味線・尾馨 しほ

【愛知県】始まりは、文化十二（一八二五）年の「東海道中膝栗毛補遺」の中に「芸者殺すには刃物はいらぬ、甚句止めれば皆殺し」と、城下町から宮の宿にかけて巷で唄われていたとあり、明治十（一八七七）年頃が最盛期であったようだ。名物は昭和に入り組唄風として最後に歌われる本調子甚句で「そうじゃおまへんか系統」である。

38 西尾節

蟹江尾紅
三味線・尾乃玉 尾保 尾乃和

【愛知県】この地は「三河万歳」の盛んな所で、正月になると全国を廻り門付をしていた。この曲はこの万歳の人が土産として持つ帰ったもので、別名「名古屋四季の音頭」ということから、元唄は名古屋のものらしい。

39 篠島さのさ

蟹江礼子
三味線・尾八 しほ

【愛知県】三河湾の入り口に位置する篠島は、歴史は古く、慶長元（一五九六）年に徳川家康から漁業権が与えられ、航海業者の往来が頻繁で各地の文化が持ち込まれた。そのため、遊里が繁栄し、当時の流行唄「さのさ節」が伝わった。

40 犬山音頭

踊り・東遊会社中

蟹江尾保
三味線・尾乃玉 尾乃和 尾紅

【愛知県】この唄は、全国的に新民謡ブームが興った昭和四（一九二九）年に、犬山相生連芸妓が、レコードを吹き込み世間に知れ渡った。野口雨情・作詞、藤井清水・作曲の新民謡である。

41 常滑祝い花火唄

蟹江尾泉
尺八・樺沢壹良鶴

【愛知県】この唄は、花火玉を大勢で担いで行く道中唄で、元唄は宮城県の嫁入り道中の長持唄である。歌詞の方寿とは鯉江方寿のことで、常滑土管の創始者、常滑の恩人と言われている。

42 神戸節

蟹江しほ
三味線・尾八 礼子 尾蜻

【愛知県】熱田神戸は東海道の宮の宿にあり、寛政年間（一七八九〜一八〇八）には熱田の東の八丁畷に、鶏飯にシジミ汁を添えて商う鶏飯屋があった。お亀、お仲の給仕女が「潮来節」に似た唄を歌い評判を得、やがて「神戸節」として歌われるようになった。

43 鮭屋のお里

蟹江尾馨
三味線・尾八 尾泉

【愛知県】明治時代に流行した俗曲のひとつ。当時の流行り芝居ものを詠い込んだ唄で、「義経千本桜」「権八小紫物」「桂川連理柵」などが題材となっている。名古屋の貴重な座敷民謡である。

河童家

見田玲子

〒464-0071 名古屋市千種区若水三丁目21番5号
TEL (052) 721-5025

卸穀雑料飼料

篠田商事株式会社

〒448-0853 刈谷市高松町2の17

TEL : 0566-21-4371

FAX : 0566-21-4373

家元挨拶

新名取の紹介 蟹江尾杏 蟹江尾久 蟹江尾采

◆◆七場 よみがえる故郷の唄◆◆

44 平針木遣り桑名節

蟹江尾八

三味線…尾馨 尾風 尾乃玉

【愛知県】平針に伝承されている木遣りの一種。当時伊勢湾は、木曾川や天白川を通じ、かなり身近に見られたと思われる。山村の平針や高針にとつて海の唄である舟唄が、普請のときの木遣り唄に変わつても当然のことである。

第二幕 絃の奏で合い「名取三味線合奏 箏と共演」

箏…野村祐子と正絃社会奏団 笛・尺八…米谷大輔 鳴物…望月左登貴美

民謡アンサンブル

第四十回郷土民謡東海大会 団体優勝曲

45 串本節 四部合奏

蟹江尾采

蟹江尾久

蟹江尾杏

蟹江尾恵

蟹江尾紅

蟹江尾乃和

蟹江尾花

蟹江尾登弥

蟹江尾風賀

蟹江尾栄

蟹江尾保

蟹江尾泉

蟹江尾乃玉

蟹江尾風

蟹江尾馨

蟹江尾八

蟹江礼子

蟹江尾蜻

蟹江尾乃八重

野村祐子と正絃社会奏団(箏)

(舞台前列よりの並び順)

46 東京だよおっ母さん

昭和の歌謡曲

47 南部 蝉しぐれ

平成の歌謡曲

休憩 15分

第三幕 端唄で綴る「大川端の四季」

48 初 春

踊り…内田寿千鶴

蟹江しほ

三味線…尾八 礼子

ナレーション…小島範子 台本製作…蟹江尾八
箏…野村祐子 笛…米谷大輔 鳴物…望月左登貴美

49 夕暮れ (舟に船頭)

踊り…牧野法子

蟹江礼子

三味線…尾八 しほ

50 夜 桜

蟹江尾風

三味線…尾八

LPガス・白灯油・住宅設備機器
ガス器具一式・固型燃料・外一式

高松燃料

〒447-0874 碧南市作塚町1丁目46番地 電話 0566-41-1636

愛知県眼科医会指定店



片山眼鏡店

〒466-0064 名古屋市昭和区鶴舞三丁目14-17
TEL (052) 731-8375 FAX (052) 731-5116

●定休日 毎週火・水曜日●

51 縁 かい な 蟹江尾馨
三味線・尾八

52 秋 の 夜 蟹江尾乃玉
三味線・尾八

53 か ら か さ 蟹江尾乃端
三味線・尾八

第四幕 特別出演 語り継ぐうたの心

◆◆◆ 一場 うた絵巻つれづれ ◆◆◆

54 刈 干 切 唄 村井鉄鷲

55 布^ふ 施^{せん} 谷^{たん} 節^{ぶし} 樺沢 壹良鶴

56 秋 田 草 刈 唄 剣持雄介

57 江 島 節 斎 千龍
弾き語り

58 起 の 舟 唄 森 信佐句

◆◆◆ 二場 二十五周年記念曲 ◆◆◆

箏・野村祐子 笛・米谷大輔 鳴物・望月左登貴美

59 初 日 の 出 蟹江尾乃端

作詞・蟹江 来 三味線・尾八 尾馨 尾風 尾乃玉
作曲・蟹江尾八 しほ 礼子
編曲・野村祐子

平成八(一九九六)年に発表した作詞・蟹江来、作曲・蟹江尾八、編曲・野村祐子による創作
端唄で、この地方を詠い込んだ祝儀唄である。



サービス代行店
中部オーディオサービス株式会社

〒466-0064 名古屋市昭和区鶴舞二丁目7-14
TEL <052>881-1311
FAX <052>881-1355

茶寮 花の宴

〒446-0065 安城市大東町17-8

TEL : 0566-72-0390

http://www.sakura-saryou.com
e-mail:anjou@sakura-saryou.com

要予約

◆◆◆三場 蟹江尾八の弾語り◆◆◆

箏…野村祐子 笛…米谷大輔 鳴物…望月左登貴美

60 大津 絵 節

大津絵節の最大の特徴は、旋律や音階が著しく変化することにある。陽^{よう}旋^{せん}法^{ぽう}の旋律から陰^{いん}旋^{せん}法^{ぽう}の旋律に変化したり、同主調の中での転調だけでなく、二度、四度、五度の転調が実に無造作にやつてのけられ、少しも不自然でなくより新鮮な魅力を感じる。また三味線が陽^{よう}旋^{せん}法^{ぽう}で、唄が陰^{いん}旋^{せん}法^{ぽう}、その逆もしばしば行われている。文化文政時代（一八〇四～一八三〇）に大いにもてはやされた、日本の代表的音曲で、各地の民謡にも大きな影響を与えている。

61 館 山

踊り…内田るり千鶴

もとは富山県立山地方の民謡であり、なぜこの館山なのかは不明である。東京で流行し始めたのは、明治二十八（一八九五）年ころで、その頃には非常に優^{ゆう}婉^{わん}な節回しに仕上がっている。

62 尾 州 音 頭

ファイナーレ

蟹江尾八会の唄

尾 州 音 頭

作詞 蟹江 來
作曲 蟹江 尾 八

ハア 尾張名古屋で 産声上げて

伊吹おろしの 心地よさ

朝な夕なに アア 唄声高く

老いも若きも チヨイトチヨイトチヨイト うたやアセ

ハア 空も晴れやか 御嶽の山に

白き雪の嶺 眺むれば

心さわやか アア 気も高らかに

連れ立ち励む チヨイトチヨイトチヨイト うたやアセ

ハア 名古屋ばやしに 心もはずむ

そろい浴衣の 意気なこと

夜更けの星の アア またたき受けて

今宵も踊るよ チヨイトチヨイトチヨイト うたやアセ

ハア 名古屋名どころ 熱田の杜に

ひびく歓喜の 名調子

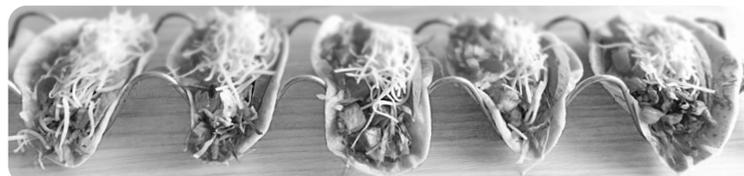
名物甚句に アア えも酔いしれて

故郷愛でる チヨイトチヨイトチヨイト うたやアセ

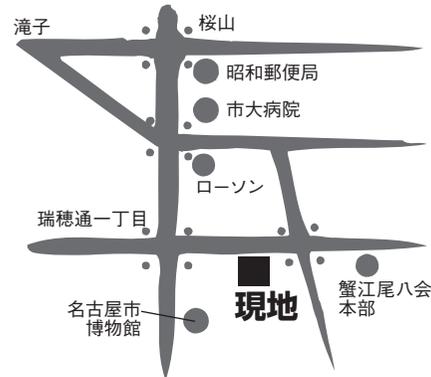
店長こだわりの本場の皮と
チリソースを使った
タコス専門店

RICO-TACOS
リコ・タコス

ランチボックス2つ以上より
配達いたします！（名東区・千種区のみ）
テイクアウトもできます！



名古屋市名東区よもぎ台3-117 第2キャピタルハイツ 1F
営業時間／11:00～16:00(水曜+不定休)
TEL : 052-775-8080
http://rico-tacos.nagoya twitter:@ricotacos758
http://www.facebook.com/ricotacos.nagoya/



ワンルーム・マンション

SANKEI HOPE'Z
サンケイホープズ

入居者
募集中

合資会社 〒467-0002
三恵屋 名古屋市瑞穂区川澄町3の25
TEL:052-851-9366

祝

第25回 民謡と端唄 蟹江尾八会

蟹江尾乃端

祝

第25回 蟹江尾八会

新名取一同

蟹江尾杏 蟹江尾久 蟹江尾采

祝

第25回 蟹江尾八会

後藤 武

祝 第25回 蟹江尾八会

美和教室一同

指導 蟹江尾風

指導日/木曜日

あま市木田五反田5-43

<連絡先>TEL:0561-55-3387 (竹田育代)

祝

多治見教室一同

蟹江尾乃玉 蟹江尾保 蟹江尾乃和 蟹江尾紅

岐阜県多治見市平和町8-12-1 (柴田五保子)

TEL:0572-22-7638

祝 第25回 蟹江尾八会

蟹江尾花会

(おぼな)

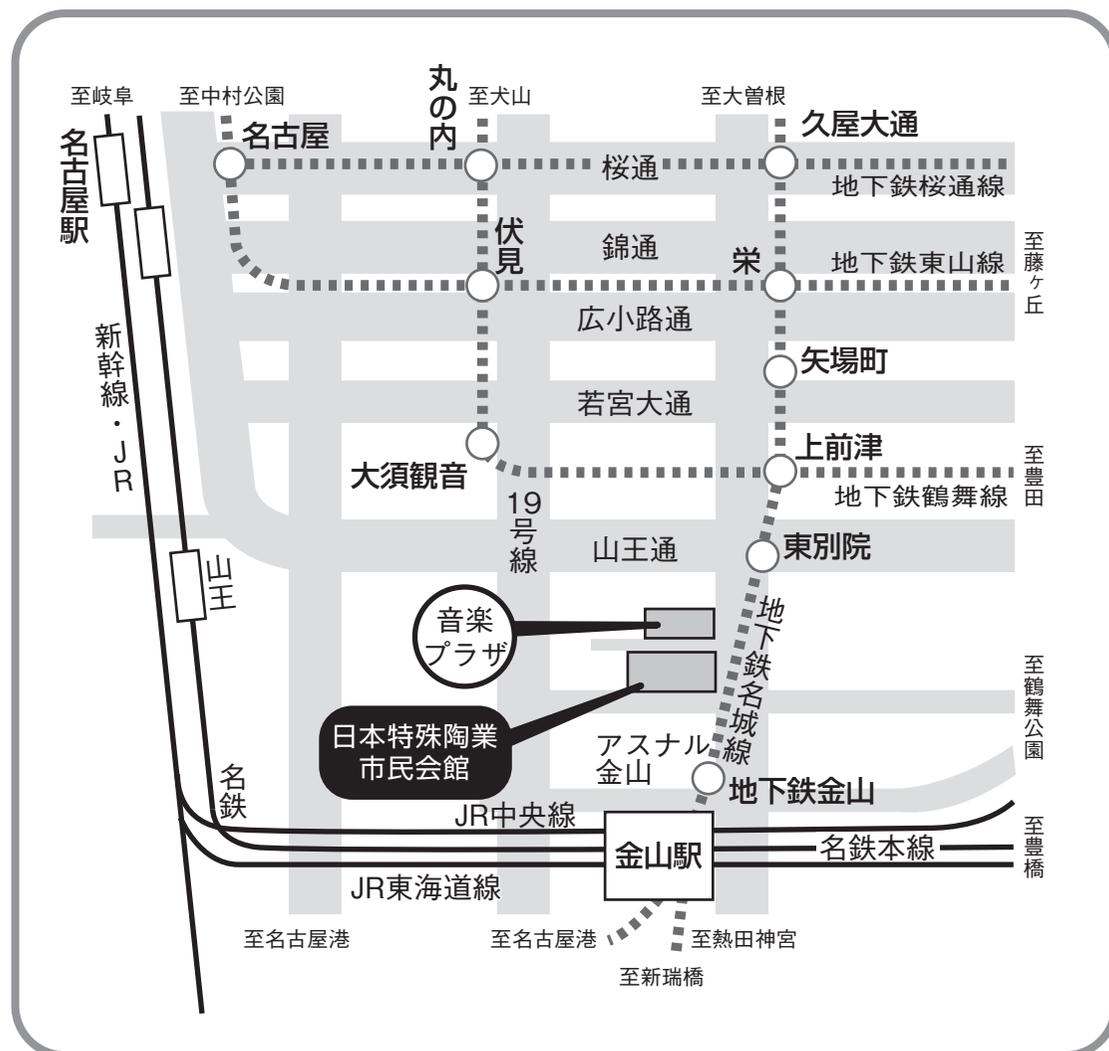
会主 蟹江尾花

〒474-0073

大府市東新町3-1-1 コープ野村 B-117

TEL : 0562-48-8490

日本特殊陶業市民会館 付近のご案内 (名古屋市民会館)



名古屋市中区金山一丁目5番1号 TEL: 052-331-2141

◆公共交通機関の御利用を◆

JR東海…金山駅下車
 名鉄…名古屋本線金山駅下車 } 徒歩5分
 地下鉄…名城線金山駅下車 地下連絡路あり
 市バス…金山駅下車北へ徒歩3分

お客様へのお願い

- ・演奏中のお出入りは、他のお客様のご迷惑となりますのでご遠慮ください。
- ・演奏中の私語は、他のお客様のご迷惑となりますのでご遠慮ください。
- ・客席内での飲み物・お食事等は、禁止されておりますので所定の場所にてお願いします。
- ・開演中に、携帯電話・時計のアラーム音等を鳴らさないよう気を付けてください。
- ・席をお立ちになる時は、必ず携帯品をお持ちください。

記

プログラム編集にあたり、広告のご協力いただきました皆様方には厚くお礼申し上げます。御芳名に誤字、脱字等がございましたら悪しからずご容赦下さいますようお願いいたします。

第25回 蟹江尾八会 制作スタッフ

企画	第25回公演実行委員会
構成・演出	蟹江尾八
演奏指導	蟹江尾八と師範会
音響	岡野憲右 (ザ・イアーズ)
照明	斎藤茂 (デライト)
美術	内野正一
舞台監督	早川浩史
司会	小島範子
監修	蟹江尾八

